

| 賞 | 川柳作品 | 作品の趣旨・コメント |
|-----|----------------------|--|
| 大賞 | 「明日やる」 明日になって「誰がやる？」 | 例えば洗濯物たたみ。結局僕がやることの多い、日々の小さな家事。□「アナタ昨日やるって言ってたよね？」□「やって」って言われるよりはマシでしょ？私がやるうっていう気持ちは確かにあったの。」□それは思いやりだったのだと、妙に感心。優しい彼女と結婚できて、僕は幸せ。 |
| 優秀賞 | 一日で イクメンだとか なめんなよ | 数年ぶりに、たった一日だけ子どもたちを夫に任せて外出。それだけで、夫はイクメンだと言われ誉め称えられる。ありがたい気持ちの反面、腹立たしさも感じる。 |
| | 見えぬ家事 こんなにあるよ 書いとくね | 洗濯、掃除、料理など大まかな家事だけでなく、きりのない見えない家事（洗剤を詰め替える、塩、砂糖を補充する など）を紙に書き出しておかないと男性はなかなかやってくれないという趣旨です。 |
| 佳作 | ありがとう 片付けまでが 料理だよ | ほぼ料理をしないパパが家族にカレーを作ってくれました。手間暇かかっていて、すごく美味しかったのですが、作っただけで終了。片付けまでしてくれたらもっと嬉しかったなあという、複雑な気持ちを表現しました。 |
| | 寝かしつけ 先に寝付いて 叱られる | 手伝うつもりが、いつも何故か怒られるはめに。□イクメンの道は遥か遠く。□ |
| | 乳離れ 代わりに胸出し 父離れ | 卒乳にあたり母親の代わりに添い寝を試みるも、お乳を欲しがる子どもに泣かれて思わず自分の胸を出してしまい、余計に泣かれ嫌がられ離れられる、父親の悲哀(と滑稽さ)を詠みました。父親育児ならではの必死さとおふざけと、いじらしさが伝わりますように。 |
| | フライパン 片付け場所を 妻が問う | 「台所は女の城」は昔の話 |
| | 我が家でも 働き方が 問われてる！？ | 働き方改革で労働時間や仕事内容が見直されるのは勤務先に限ったことではない！？ 共働きの世帯が増える今、家庭でも「料理」、「洗濯」、「育児」などで夫婦の働き方が見直されているのを我が家でも実感しているのでこの作品にしました。 |
| | 同僚の 献立会議に 耳すます | 早く帰れる日は、晩ごはんを作りますが、何にしようか悩む日もあります。そんなとき、今まで気に留めていなかった職場の同僚の女性たちの「今夜なんにする？」といった会話に、いつのまにか耳を澄ましている自分がいました。最近はいろいろ相談に乗ってもらうようになっています。 |
| | マンションの カジダン集う ごみ置き場 | 男性の参画している家事のダントツ1位は、ゴミ捨てだそうです。それって家事と言って良いの？という気持ちと、せめてそれぐらいは進んで欲しいなーという両方の気持ちが起こります。男性側もゴミ置場では、同志を見る感じがな？と思って詠みました。 |